

改善計画書(兼改善状況報告書)

作成日 : 平成18年5月20日

評価日 : 平成18年4月11日

グループホーム名	里 の 家
----------	-------

作成者(代表)	職 名 管理責任者
	氏 名 堀田 由美加

優先順位	改善項目No.		改善目標	改善に向けた計画内容	期間	評価(18年 5月20日現在)
	自己	外部				
1	37	28	身体拘束のないケア	ユニット会の議題に挙げ、全員で検討していく。	18年5月～	ミトンの方は、食道ろうチューブを自己抜去されるので現状のままとなった。2本柵使用は、見守り巡回等、頻繁に行う事で1本柵対応となる。(転倒の危険性の無い方)
2	90	51	ホームに閉じこもらない生活	施設敷地内散歩だけでなく、近所、ドライブ等、外出する機会を作る。	随時	6月1・2日道後1泊旅行。
3	96 97 108	53 54 59	円滑なチームケア 入居の決定	代表者、相談員、管理者、職員でユニット会を行う。 各々の考えや思いを知り、ケアの向上につなげていく。	月1回	代表者は参加できなかったが、職員の声を管理者が代表者に伝えていく。継続していく。
4	74	44	入居前の健康診断	検討中		
5	85	49	緊急時の手当て	消防署の協力を得て年1回救急法を受講予定。	年1回	
6	86	50	感染症対策	マニュアルだけでなく勉強会でさらに内容を深めていく。		
7	101	55	成年後見制度について	勉強会予定		
8	102	56	人員確保	看護師採用予定		
9	104	57	認知症研修	職員研修を順次予定している。		
10	106	58	ストレス解消	親睦会をつくった。(研修旅行・親睦会等予定)	随時	管理者は個別にも話を聞くように心がけている。
改善済	3	2	理念の明示	文字を大きくし、利用者、家族、訪問者などに、分かりやすいところに明示した。	18年3月	利用者、家族等立ち止まり見られていた。
改善済	6	5	気軽に入れる玄関まわり	エレベーターを降りたらすぐ、ユニットが分かるように矢印で示した。	18年3月	玄関先にもユニット名だけでなく、季節にあった飾りつけ等をし、利用者からも好評である。
改善済	13	10	場所違いの防止	馴染みの表示に付け替えた。	18年3月	「トイレ」→「便所」
改善済	115	62	注意の必要な物品の保管・管理	脱衣室の洗剤類、漂白剤等、箱に入れ、目に触れないようにした。	18年3月	
改善済	26	21	チームケアのための会議	月に1回ユニット会を実施する。	18年4月～	問題点の共有・意思統一ができ、ケアの質を高めていく。(特に新人)

改善済	124	67	家族への日常の様子に関する情報提供。	一人ひとりにコメントを添えて、毎月「ユニット便り」を提供する。	18年4月	本人の様子が分かり、家族に好評である。
改善済	11	9	入浴時の安全確保	縦方向の手すりを取り付けた。	18年5月	浴槽への出入りがしやすくなった。
改善済	47	33	職員と一緒に食事を作る。	副食はほとんど厨房から上がってくるが、汁物、お寿司、炊き込みご飯(主食)等、利用者と一緒につくる。 月に1回、リクエスト献立を(夕食)を一緒につくる。	随時 月1回	同じメンバーになるが、つくり方を教えてもらったり、味付けをしてもらったり、利用者も生き生きしている。また、以前に比べコミュニケーションがとれている。